

●野村誠

<http://www.makotonomura.net/>



作曲家。「ドレミノテレビ」、「あいのて」、「ヒミツのちからんど」などのテレビ番組、国内外各地のコンサート、ワークショップなどで鍵盤ハーモニカの魅力を伝える。日本相撲聞芸術作曲家協議会理事。千住だじゃれ音楽祭ディレクター。日本センチュリー交響楽団コミュニティ・プログラム・ディレクター。著書に「音楽の未来を作曲する」（晶文社）ほか。

声を出してみる。大きい声でもいい。小さい声でもいい。かすれた声でもいい。裏返った声でもいい。体を動かしてみる。スムーズに動いてもいいし、ぎこちなく動いてもいい。みんなと違っていいし、同じでもいい。楽器を鳴らしてみる。決まった曲を演奏してもいいし、デタラメに音を出してもいい。まずは、音を出すこと。音を味わうこと。音楽の一番の喜びを感じる。上手にやろうとか、間違えないとか、そんなことは考えずに、ただ鳴らしたいように楽器を鳴らす。少し慣れてきたら、他の人の動きや音に合わせて音を出してもいいかもしれない。そんな風にして、楽しく音で遊ぼう。

●親と暮らせない子どもたちの「生きる力」を育てるレッスン 特定非営利活動法人 子どもデザイン教室 代表理事 和田 隆博 <http://www.c0d0e.com/>



「子どもたちはレッスンを通じてどう変わったの?」「居場所のない子どもたちの実情をもっと知りたい」「親と暮らせない子どもたちに必要な支援ってなんだろう?」そんな疑問にお答えします。今回のセミナーでは、「親と暮らせない子どもたちが子どもデザイン教室で学ぶと、どう変わるのか?」に焦点をあててお話しします。また、子どもたちが実際に体験しているレッスンの一部をご紹介します。レッスンの意義や効果をご体験頂きます。さらに、新しく始めた小規模住居型児童養育事業「こどもサポートホーム」の活動をご紹介します。これからの社会的養護のあり方を提言します。親と暮らせない子どもたちが「生まれてきてよかった」と思える社会にするために、創造力を鍛え、自信を取り戻すデザインレッスンを提供してきた当団体も、2019年度で設立12年目となります。私たちの活動がどのような成果に結びついたのかについてご説明します。

○1961年 大阪生まれ○大阪市立大学商学部 卒業○大阪市立扇町総合高校 講師○こどもサポートホーム 代表○養育里親○大阪市里親会理事○ソーシャルデザイナー

●NPO法人音楽サポートネット音結（おとゆい）



音で育む生きるチカラ

音結は、音楽でコミュニケーションをとる団体です。年齢、性別、国籍、障がいの有無に関わらずすべての人がアクセス可能でオープンな「コミュニティ音楽療法」を目指して音で人と人を結び、共鳴の和を広げていきます。

詳しい活動はコチラから

音結

